

一

問一

A 老将

B 唱

C 退散

D 招

E 損毛(亡)

問二

ア 3  
イ 5  
ウ 2

問三 I

祭は天災を止める事が出来ないということ。

II

村人達が、大人も子供も一丸になつて祈ること  
とで、自然の脅威を次世代に伝え、困難に立  
ち向かつてゆく勇気を持つ、ということ。

イ

問四

医者に対し、患者には診察や薬より食べ物が

必要だ、と言った点。

二

問一

ア 4  
イ 3  
ウ 5  
エ 2

問二

I イ II エ III ウ IV ア

問三

小砂子という土地が小さな集落である、ということ。

問四

先住者としてのアイヌを尊重し、和人達を割りこんできた  
者として冷静に位置づけ、古い時代のアイヌの暮らしを  
民俗資料によって語る、という姿勢。

オ

問六

水利をめぐって、近隣の部落単位で争うこと。

問七

弥生式農耕

問八

アイヌの人々の、採集生活に支えられた平和な社会に、  
猜疑と競争心が生まれ、人々が争うようになること。

三

問一

A オ B イ C ア

問二

かつては一般市民にとつて身近なものであつ  
たが、科学が市民の生活から離れ、本来より  
難しいものとなつた。

問三

科学者も、研究の分業化と細分化により、そ  
の全貌をよく分かつていない、ということ。

問四

エ

問五

ア

問六

ウ オ

受験番号

小学校名

小学校

氏名